

させていただきました。

**市長** 私も先日、鈴木知事と一緒に試写会にお招きいただきました。知事はいかがでしたか。

**知事** 三重というと「海」をイメージする人が多いと思いますが、実はこんなに美しい山や森もあるんだというところがとてもきれいに映像化されていてうれしいです。さらに三重県の森で一人の若者が成長していくストーリーが心温まる映画でしたね。

**市長** 美杉のこと森のこと、そして都会育ちの主人公が林業に携わったことで変化し成長していく様子が、とても爽やかに描かれている映画でしたね。さて、三浦さんは、美杉にゆかりがあるとお聞きしましたが。

**三浦** 祖父母がずっと美杉で暮らしていて、父も高校に行くまでは、美杉で生まれ育ちました。私も子どものころ何度も祖父母の家に遊びに行っていたんですよ。

**市長** そのときの記憶が原作に反映されているんですね。

**三浦** 山がとってもきれいで、夏は花火をしたりホテルを見たり、川で泳いで遊んだりしました。祖父が林業を営んでいましたので、林業にもとても興味があったので、それで小説を書いたという感じですよ。



©2014「WOOD JOB!～神去なあなあ日常～」製作委員会

**市長** 矢口監督、〇ヶ地を決めるため、事前にかなり調査をされたそうですね。

**矢口** ほとんどの作品はいろいろな所で撮影をして、編集の中で一つの場所に見せるんですが、今回の「ウッジョブ!」は、ほとんど美杉の中で撮影をすることができました。神去村は架空の村なんですが、本当にそういう村があるん



じゃないかっていうくらい、ほぼ美杉全域で撮影しました。

**知事** 撮影中の炊き出しなど地元の皆さんの協力があつたとお聞きしましたが。

**矢口** 美杉の皆さんにはとてもお世話になりました。

**市長** 美杉総合支所の職員も撮影場所探しのお手伝いをするなど、地元の皆さんとのパイプ役となりました。

**矢口** 撮影前から撮影場所の選定や建物の提供など長期にわたりお世話になり、とても感謝しています。また、映画にはお祭りのシーンがありますが、この場面にはたくさんのふんどし姿のエキストラが必要だったのですが、延べ1,600人もの皆さんに参加いただき、とても迫力のある映像が撮影できました。本当に皆さんの協力のおかげだと思っています。

**知事** 三浦さん、林業をテーマに執筆された際の苦労話などはありましたか。

**三浦** 山の傾斜の厳しさとか、木や山のスケールの大きさとか、文章ではなかなか表現しづらいところがありましたね。でも今回の映画化のお話を聞いたとき、映像なら山が宿している迫力と美がもっと伝わるだろうなと思って、とても



## 矢口 史靖(やぐちしのぶ)さん

神奈川県出身。映画監督。1993年「裸足のピクニック」で劇場監督デビュー。2001年「ウォーターボーイズ」が大ヒット。2004年「スウィングガールズ」、2008年「ハッピーフライト」、2012年「ロボジー」と数々のヒット作を世に送り出している。